

帝京平成大学大学院
論文審査結果の要旨

氏 名	内田 千加子		
論文名	鍼刺激が引き起こす一過性心拍数減少反応における体性感覚、覚醒度の関与および自律神経機能評価に関する研究 ー背景脳波および心拍変動解析を指標とした検討ー		
審査委員	区 分	職 名	氏 名
	主 査	教授	栢森良二
	副 査	教授	今村哲夫
	副 査	教授	仲村一郎
要 旨			
<p>1. 当該研究に関して</p> <p>①既知のこと：鍼刺激時に一過性に心拍数が減少する。この心拍数減少は鍼灸治療におけるリラクセーション効果に伴う、副交感神経系優位性に伴うものであると考えられてきた。</p> <p>②未解決のこと：鍼刺激時には必ずしも心地良さや得気が得られず、強くひびいたりして心地良い感覚が得られないこともある。このようなリラクセーション効果を伴わない時の、心拍数減少は生じるのかどうか。</p> <p>③具体的目的：鍼刺激時の心拍数変動解析と背景脳波周波数帯域のパワースペクトル解析を用いて、自律神経機能の変化を調べた。</p> <p>2. 本研究で新たに得られた知見：鍼刺激時には心地良さや得気の有無にかかわらず心拍数は減少していた。心拍数変動の高周波帯域は有意に増加しており、副交感神経系が優位になっていることを示唆していた。脳波の周波数帯域の分析では、徐波化群と速波化群ともに心拍数は減少しており、しかも速波化群では、心拍数変動の高周波帯域は有意に増加していた。鍼刺激時のリラックス状態への変化の有無に関わらず、循環器系の心拍数は減少する副交感神経系が優位になっている。</p> <p>3. 倫理的配慮：問題なし。</p> <p>4. 結論：学位授与可。</p>			